



# やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2025. 4. 23号

文責 小森

## 令和7年度 全生徒 520名新学期がスタートしました。

春の暖かな陽射しとともに、令和7年度の新学期がスタートしました。4月8日に行われた入学式では、180名の新入生が本校の門をくぐり、今年度は全校生徒520名での新たな歩みが始まりました。新入生の皆さんの表情には、期待と緊張が入り混じった初々しさがあり、式典の厳かな雰囲気の中にも、未来への希望がにじみ出ていました。

田添校長の入学式式辞では、これからの中学校生活を送るにあたり、「ワクワクしながら登校してほしい」という願いが語られました。毎日が新しい発見や学びに満ちていることに気づき、その一つ一つを楽しむ気持ちが、学習や部活動への主体的な取組へとつながります。自ら考え、判断し、行動する力は、これからの社会を生きていく上で欠かせない力です。その土台となる3年間を、ぜひ「ワクワク」を大切にしながら過ごしてほしいというメッセージが新入生に送られました。



また、校長先生は「夢(目標)をもって、いろいろなことに挑戦する」ことの大切さにも言及されました。挑戦には失敗がつきものです。しかし、挑戦しなければ失敗もしない代わりに、何も得られず、何も残りません。「あのときやっておけばよかった」という後悔をしないためにも、今という時間を大切に、一歩踏み出す勇気を持つことが成長への第一歩です。さらに、アメリカNBAで活躍したマイケル・ジョーダン選手の「挑戦することを恐れるな。自分が挑戦しないことを恐れる。」というメッセージを紹介されました。成功するかどうかではなく、挑戦そのものに価値がある。たとえうまくいかないことがあっても、それを糧として再び挑戦すればよい。その積み重ねが、生徒たちを大きく成長させ、次の挑戦、成功へのステップとなり、人生の大切な財産になるという思いを伝えられました。



式辞の終盤には、保護者の皆様に向けての言葉も述べられました。子どもたちの中学校生活は心身ともに大きく成長する時期であり、同時に心の変化も激しい時期でもあります。そんな中で、家庭と学校が連携し、温かくも厳しさをもって子どもたちに接していくことの大切さが語られました。「子どもたちが3年間を終えたとき、『この学校に通ってよかった』と思えるような学校を目指す」との言葉に、我々職員も未来を担う生徒たちをしっかりと見守っていくことを改めて強く思いました。



新入生にとっては、希望に満ちた新しい生活の始まりであると同時に、不安も多い時期です。ですが、その不安は決して特別なものではありません。誰もが新しい環境に身を置くときに感じる自然な感情です。教職員一同、子どもたち一人一人の歩みに寄り添い、安心して学校生活を送ることができるよう、引き続き全力で支援してまいります。

中学校生活は「学び」「友情」「挑戦」にあふれた3年間です。この3年間でどれだけ多くの経験をし、どれだけのこと挑戦できたかが、生徒一人一人の成長につながっていきます。そして、そうした日々の積み重ねが、やがて大きな夢や未来へとつながっていくことでしょう。



令和7年度の幕が上がった今、私たち教職員も新たな決意を胸に、全力で教育活動にあたってまいります。今年度も、保護者の皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 4月11日（金）歓迎遠足・対面式・部活動紹介

4月11日、今年最初の行事である歓迎遠足を実施しました。今回は初めての試みとして、県立総合体育館アリーナを会場に実施しました。1年生は学校から体育館まで歩き。春の陽気を感じながらの道のりとなりました。先に現地入りした2、3年生は、1年生を迎えるための準備、及び部活動紹介の準備を行いました。部活動紹介は、各部それぞれのパフォーマンスを行いながら、各部の魅力を伝えていました。



## t e t o r u（テトル）登録のお願い

本校では、長崎市教育委員会からの連絡や学校から保護者の皆さまへのメール配信（学校だよりや保健だより等）、保護者の方から学校への欠席・遅刻・早退等の連絡等において「tetoru」を活用しています。2、3年生については学年・学級の入れ替わりを済ませ配信できるようになっています。新入生及び転入生については、文書を各ご家庭へ配付していますので、まだ、登録されていないご家庭は登録をお願いいたします。

なお、すでに登録されている場合、欠席・遅刻・早退等の連絡は利用可能です。学校からの連絡については、全家庭の登録が確認できた後、配信を開始します。

## 写真で見る学校生活の様子

### 学級委員任命式・生徒集会・歓迎遠足

